

平成28年度 宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）第1回会議

日時：平成28年（2016年）8月18日（木） 14:00～15:30

場所：宇部市役所 4階 第3・4委員会室

出席者：10名（欠席者4名）

榊原会長、福本委員、綿部委員、辻野委員、河内委員、宗像委員、磯部委員、名越委員、西村委員、片岡委員

事務局：5名

庄賀総合政策部次長、篠原政策企画課課長、濱原政策企画課課長補佐、中村政策企画課課長補佐、伊藤主任

次第：1 会長あいさつ

2 宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）について

3 議事

・バス路線の一部廃止の件（宇部市交通局）

4 報告

・市内バス路線の変更について（宇部市交通局）

5 その他

1 会長あいさつ

2 宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）について（事務局）

3 議事

・バス路線の一部廃止の件（宇部市交通局）

【委員】

再編実施計画を策定している途中で、バス路線の廃止などの変更を行うと認定が難しくなりますが、このタイミングで廃止しなければならない理由を教えてください。

【宇部市交通局】

バス路線の見直しについては、網計画に基づき実施していくこととしていますが、一方で、財政面や運転手不足から現状のままでは経営的に厳しく、再編実施計画の認定まで待てない状況もあり、今回は特に利用状況が芳しくない区間についてのみ廃止を行います。本格的な再編は、再編実施計画の認定後に行う予定です。

【会長】

国と宇部市交通局の再編の方向性は同じですが、実施時期についてズレが生じており、再編実施計画の認定が受けにくくなる可能性もありますが、市はどのように考えていますか。

【事務局】

地域の実情と宇部市交通局の経営を考えると、早急に再編が必要な路線については、前倒しすることもやむを得ないと考えています。網計画を実現していくには、更に路線の見直しを進めていく必要があることから、再編実施計画には、もっと大規模な再編を盛り込む予定です。

【会長】

通学への影響はありますか。地域説明などで通学の話は出ていませんか。

【宇部市交通局】

西宇部線と丸尾港線については、通学に利用することもできますが、現実的には全体の利用者数がわずかであることからやむを得ないと考えています。地域の説明会などでは、通学の話は特に出てきていません。

【委員】

利用者の属性は把握していますか。

【宇部市交通局】

運賃種別などで把握していますが、本日は手元にデータを備えておりません。

【会長】

西宇部線、厚南循環線、中山線の廃止区間については、他の路線バスでの代替ができませんが、地域内交通の状況はどうなっていますか。

【宇部市交通局】

厚南校区や原校区では、地域内交通の導入に向けた話し合いが行われています。その他の地域についても説明会等を随時開催しており、地域内交通導入に向けた取組を市とともに進めています。現在のところ、厚南校区や原校区ほど話は進んでいません。

【委員】

資料4別紙1の乗降人数は、廃止区間のみの乗降人数ですか。

【宇部市交通局】

廃止区間の停留所の乗降人数です。

【委員】

バス路線の廃止にあたり、地域への説明はどうなっていますか。

【宇部市交通局】

地域の要望により運行を始めた厚南循環線と中山線は、導入時に協議したメンバーと自治会関係者と話し合いを重ねており、対象地域に文書でもお知らせしています。

丸尾港線についても、自治会関係者と協議を重ねており、文書でもお知らせする予定です。

【会長】

廃止に伴う効果は試算していますか。

【宇部市交通局】

廃止区間の距離で収支計算を行うと、西宇部線と厚南循環線の廃止で約500万円の経費削減が見込めます。また、運転手不足の解消にも効果があります。

中山線、桃山線、丸尾港線については、他の系統へ集約するため、試算ができず効果は不明です。

【事務局】

地域内交通の導入状況について説明します。バス路線の廃止に伴い、宇部市交通局と一緒に地域内交通の導入に向けた説明会を市内各所で行っているところです。厚南校区と原校区については、運営協議会を立ち上げ、具体的な運行ルートについて話し合っているところです。

また、先日も東・西岐波校区で、市長と地域内交通の説明会を行ったところです。

路線バスが廃止される区間だけでなく、路線バスが運行していない公共交通空白地についても、地域の実情に合わせた地域内交通を導入することで、市としては便利で使える地域公共交通網を形成したいと考えています。

【会長】

本件に承認いただける方は挙手をお願いします。

(全委員挙手)

【事務局】

この件に関して承認をいただきましたので、会長名で「協議が調っていることの証明書」を事務局で作成し、宇部市交通局へ交付させていただきます。宇部市交通局においては、証明書と関係書類を運輸局に提出していただくことになります。

4 報告

・市内バス路線の変更について（宇部市交通局）

【委員】

新しく運行を予定している市街地循環線については、再編実施計画の中で正式に運行させることから、チラシなどには今回の運行は実証運行であることを明記してください。また、実証運行の内容を検証し、再編実施計画に反映させてください。

【委員】

市街地循環線を運行するターゲット、なぜ均一運賃ではないか、メリットについて説明してください。

【宇部市交通局】

市街地のまちづくりの活性化のために導入するもので、大学病院や公共施設などを利用される市街地の短距離移動者をターゲットにしています。まちづくり会社やまちなかのイベントと連携して、利用促進を図っていきます。

運賃は、対キロ制で130円から190円と200円未満となっており、実証運行の内容を検証し、均一運賃にする場合は、協議会で承認をいただきたいと思います。

【会長】

主要幹線における等間隔運行ですが、船木鉄道では宇部線で一部実施していますが、利便性向上のためにも他の路線でも実現していただきたいと思います。

最終便の運行時刻の繰り上げは、今でも早いとの声もありますが、利用状況や運転手不足の状況では、仕方がない部分もあると思います。

【委員】

中山線について、雨の日は宇部西高等学校の利用者は多く、フロンティア大学の学生は夕方バス停で大勢待っている姿を見かけますが、そういった状況を把握していますか。

【宇部市交通局】

利用状況は乗降調査で把握しています。中山線は運行系統を集約するもので、宇部西高等学校の便数は変わりません。また、フロンティア大学については、乗り入れの増便を検討しています。

【委員】

先日の東・西岐波校区の地域内交通の説明会に参加しましたが、地域に負担を求める前に市がやるべきことがあるのではないかという声を聞きました。

東岐波と西岐波は、元々、別の村であったことから、地域内交通の導入についても配慮が必要と思います。

【会長】

乗降データを分析すると、短距離移動者が意外にも多いので、市街地循環線はしっかり周知していただきたいと思います。

東岐波と西岐波の地域内交通の導入については、時間を掛け、広い区域での運行も考える必要があるのではないかと思います。

地域内交通の導入にあたっては、運賃で過度な負担は避けるようにしていただきたいと思います。

5 その他

【事務局】

次回の会議ですが、厚南校区の地域内交通の導入と再編実施計画策定に係る会議を10月26日（水）に行う予定にしています。